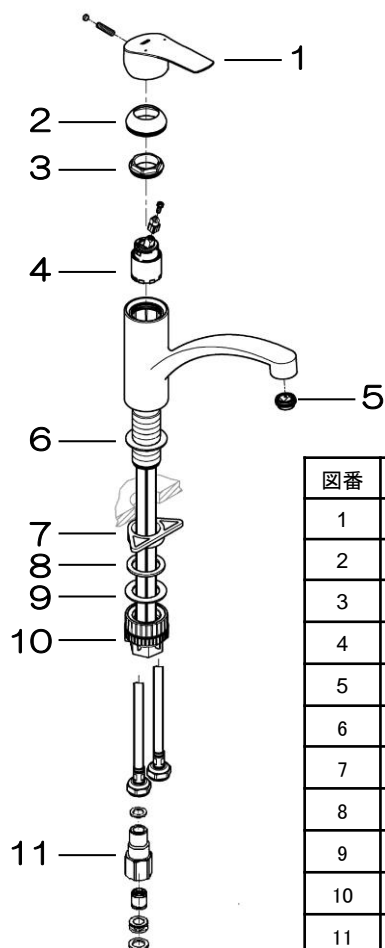
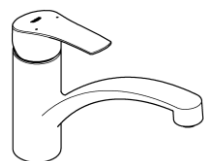


ユーロスマート シングルレバーキッチン混合栓 据付説明書 (お客様にお渡しください)

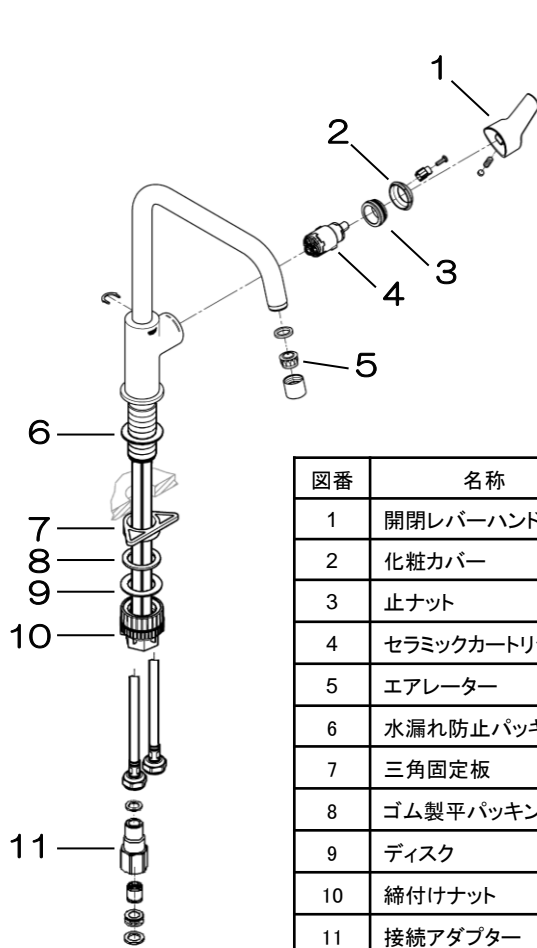
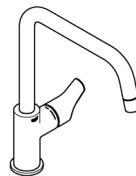
- 製品の機能が十分に発揮されるように、この据付説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
- この据付説明書に記載されていない方法で据付され、それが原因で故障が生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。
- 据付完了後、試験運転を行い、異常が無いことを確認するとともに、「取扱説明書」にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- 施工完了後は、この説明書を同梱の取扱説明書とあわせてお客様にお渡しください。

上部レバータイプ 33281



図番	名称
1	開閉レバーハンドル
2	化粧カバー
3	止ナット
4	セラミックカートリッジ
5	エアレーター
6	水漏れ防止パッキン
7	三角固定板
8	ゴム製平パッキン
9	ディスク
10	締付けナット
11	接続アダプター

サイドレバータイプ 30567



図番	名称
1	開閉レバーハンドル
2	化粧カバー
3	止ナット
4	セラミックカートリッジ
5	エアレーター
6	水漏れ防止パッキン
7	三角固定板
8	ゴム製平パッキン
9	ディスク
10	締付けナット
11	接続アダプター

欠品、キズ等が無いかわ据付前に必ず確認してください。万一欠品、キズ等があった場合はご購入先へ早めのご連絡をお願いいたします。

安全上の注意

据付前にこの「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく据付してください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠注意

湯水を逆に配管しないでください。

※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。

お客様に引き渡す前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。

寒冷地仕様ではありませんので、水抜きには工具を必要とします。

※凍結破損で漏水し、家財を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

据付完了後は、配管接続部分及び水栓から、水漏れの無いこと、開閉レバー、ハンドルが閉じていることを確認してください。

※漏水で、家財を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

使用条件

●給水、給湯圧力

◇貯湯式温水器(ボイラー、電気温水器)と組み合わせる場合

最低必要圧力0.1MPa[1kgf/cm²](流動圧)～最高圧力0.74MPa[7.5kgf/cm²](静水圧)の範囲とします。

給水・給湯圧力は必ず同圧にしてください。

やむなく圧力差が生じる場合は最大3:1以内になるようにしてください。

(例: 給水圧力0.2/給湯圧力0.2、給水圧力0.6/給湯圧力0.2などのように設定ください)

◇給水圧力が0.74MPa[7.5kgf/cm²]を超える場合は、市販の減圧弁等で適正圧力に減圧してください。

●水勢の調節及び器具の点検を容易にするために、別途止水栓の設置をおすすめします。

●給湯に蒸気を使用しないでください。

●水栓下部を点検出来るように必ず点検窓を設けてください。

据付前の注意

●給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。

●給水は上水道に接続してください。

※井戸水、温泉水など異物を多く含む水には使用できません。

●開梱、取り付けの際には商品の表面に傷をつけないように十分に注意してください。

●必ず配管中の異物(ゴミ、砂等)を完全に洗い流してください。

●寒冷地仕様は不凍栓等を設置した寒冷地仕様配管設備でないと使用できません。

●配管接続部を隠ぺいしないでください。

●給水・給湯ホース緩み防止の為、給水・給湯配管は動かないように確実に固定してください。

●クイックソケットの接続ねじは平行ねじG1/2です。テーパねじ(TP1/2,R1/2)には使用しないでください。

また止水には付属のパッキンを必ず使用してください。

施工手順

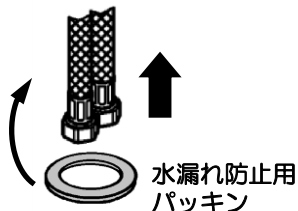
1. 取付け穴への設置

1. 取付けカウンター表面の汚れを拭き取ります。

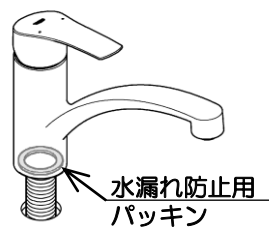


水栓本体裏面に水漏れ防止パッキンを取付けます。

- ①給水・給湯ホース先端から挿入



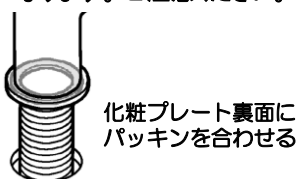
- ②本体の裏面にパッキンを合わせます



水漏れ防止用パッキン

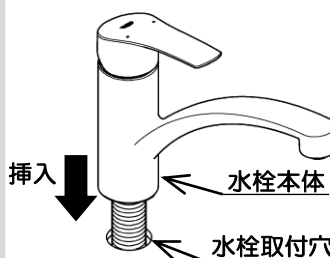
注意

水漏れ防止用パッキンがズレると漏水の原因になります。ご注意ください。



化粧プレート裏面にパッキンを合わせる

3. 本体をカウンター上部から取付け穴に挿入します。



挿入

水栓本体

水栓取付け穴

ポイント

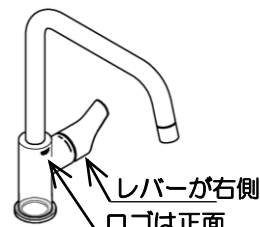
ホース同士がぶつかって取付け穴に入れづらい場合は、片側から入れるなど、少しずつずらしながら入れてください。

注意

※取付け穴が本体の中心になるように注意してください。
※施工中、本体を倒さないでください。
※水漏れ防止用パッキンが取付け穴の外周に収まっていることを確認して下さい。漏水の原因になります。

注意

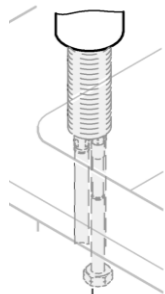
【サイドレバータイプ 30567】
吐水口が左右対称に回転する位置で固定してください。
(レバーが向かって右側、ロゴが正面になります)



レバーが右側
ロゴは正面

2. 締付け部品の取付け

1. 三角固定板、ゴム製平パッキン、ディスク、締付けナットをカウンター下からホースに挿入します。



注意

カウンター厚みが55mm以上の場合、三角固定板はご使用出来ません。

締付ナットでしっかりと固定してください。



三角固定板

※平らな面が上

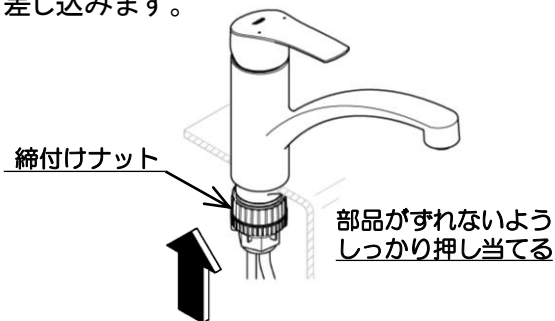
ゴム製平パッキン

ディスク

締付けナット

※六面が下

2. 締付けナットを本体ねじ込み部にまっすぐ差し込みます。

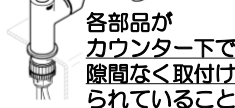


締付けナット

部品がずれないように
しっかり押し当てる

注意

三角固定板、ゴム製平パッキン、ディスク、締付けナットがカウンター下に隙間なく平行に取り付けられた状態にします。



据付手順

3. 締付けナットによる本体の固定

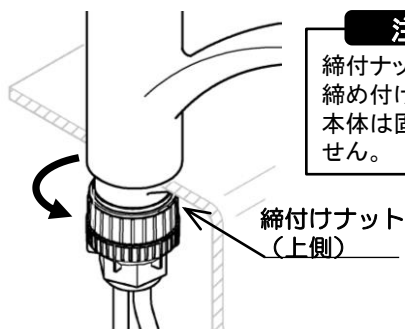
ポイント



本製品の締付けナットは2段構造のナットになっています。上側のナットで仮止めし、下側のナットで締め上げます。

※施工時は上側ナット締付時に正しく位置決めし下側ナットで確実に固定してください。

1. 締付けナットの上部を手で右回しに締め付けます。



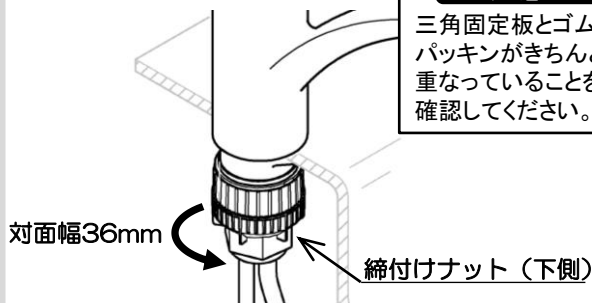
注意

締付ナット上側の締め付けだけでは本体は固定出来ません。

2. 締付けナットの下部を工具を使用して右回しに締め上げます。

注意

三角固定板とゴムパッキンがきちんと重なっていることを確認してください。



注意

必ず工具を使用して締付けてください。工具は36mmユニバーサルレンチ、クロウフットレンチ等をご使用ください。締付後、本体にグラつきがないことを確認して下さい。

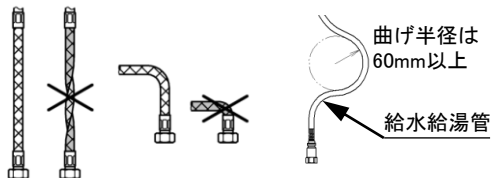
注意

締付は150kgf・cm以下のトルクで行ってください。締付けナットは樹脂製です。部品破損に十分ご注意ください。

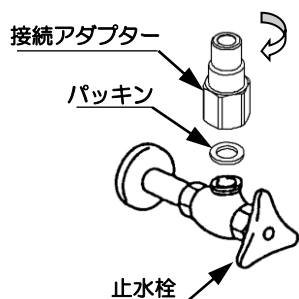
4. 接続アダプターの接続方法

注意

- ・給湯配管には給湯ホースのみ接続してください。
 - ・給水・給湯管同士が接触しないよう、注意してください。
 - ・リングのキズやゴミかみに注意してください。
 - ・給水・給湯管がねじれないよう注意してください。
 - ・給水・給湯管を曲げる場合は、曲げ半径60mm以上確保してください。
- ※漏水の原因となります。



1. 接続アダプターを止水栓に固定します。



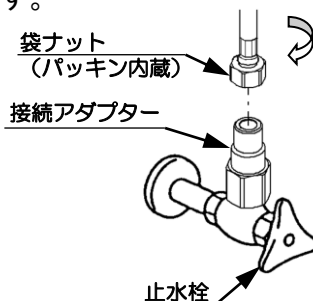
注意

寒冷地用は部品が異なります。

注意

締付は200~300kgf・cmのトルクで行ってください。初期の締付が弱いと漏水の原因になります

3. 給水・給湯管の袋ナットを接続アダプターに接続します。



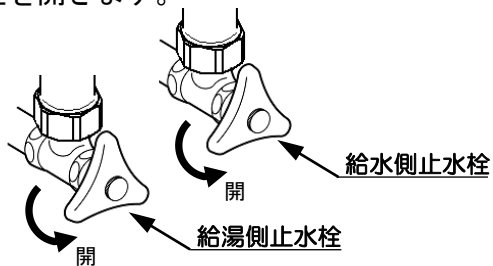
注意

・本体袋ナットにパッキンがあるか確認してください。給水・給湯管の不要な接触は避けてください。※干渉によりホースが劣化する恐れがあります。

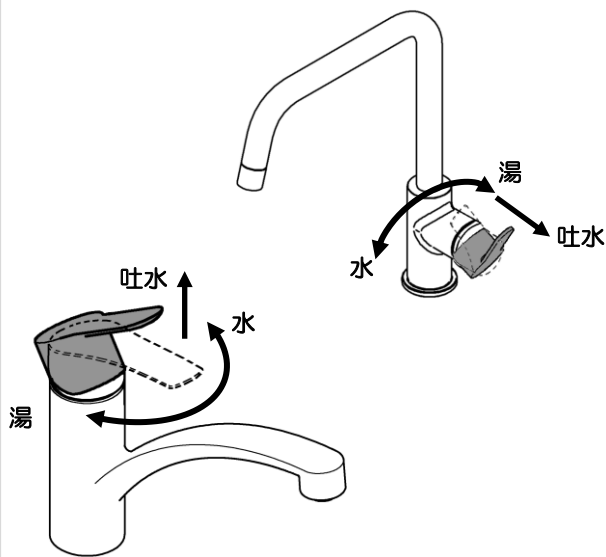
取付後の確認

1. 通水確認

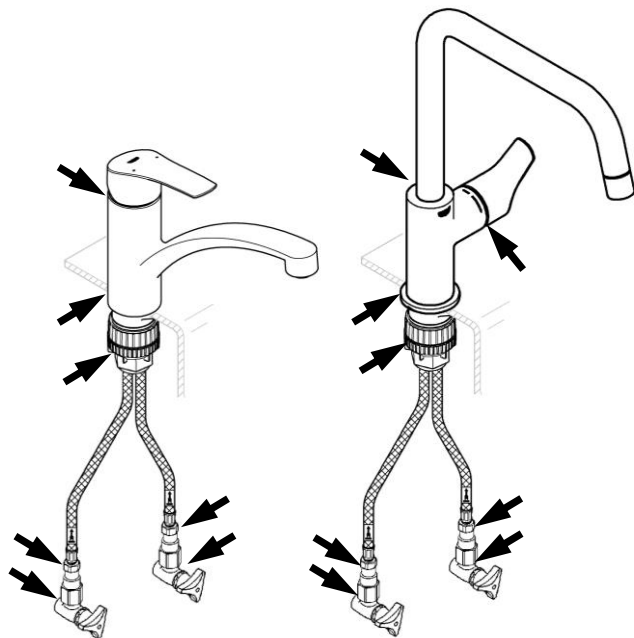
1. 水栓のレバーハンドルを閉じ、給水・給湯の止水栓を開きます。



2. 湯側・水側それぞれの位置でレバーハンドルを開け、通水確認します。



3. レバーハンドルを閉じ、接続部からの漏水がないか確認します。

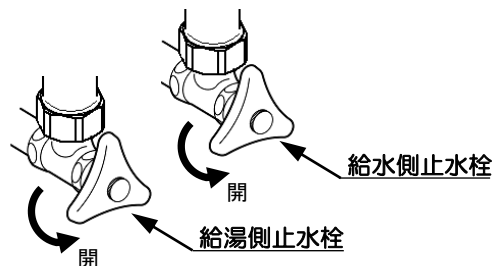


注意

※万が一漏水が確認された場合は、パッキンを新品に取り替え、再度規定のトルクで締付を行ってください。
※パッキン破損等が漏水の原因となります。

2. 流量の確認

お使いいただく現場で、適量・適温が得られるよう、止水栓で調節します。



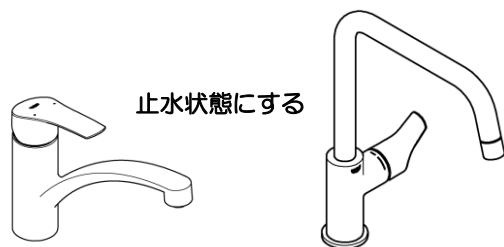
注意

レバーハンドルを全開にしたとき流量が湯と水でそれぞれ約8L/min(※)を超える場合は、止水栓で流量調節をして下さい。
(※: 1リットルの容器をいっぱいにするのに約9秒)

取付後の確認

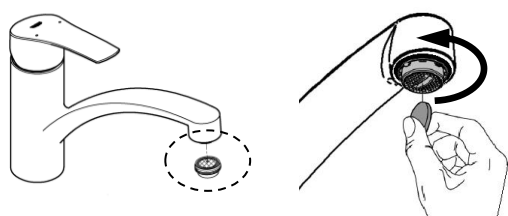
3. エアレーターの清掃

1. レバーハンドルを止水状態にします。



2. エアレーターを取外します。

上部レバータイプ 33281



エアレーター先端の溝に硬貨等を差込み、反時計まわりにまわして取外します

注意

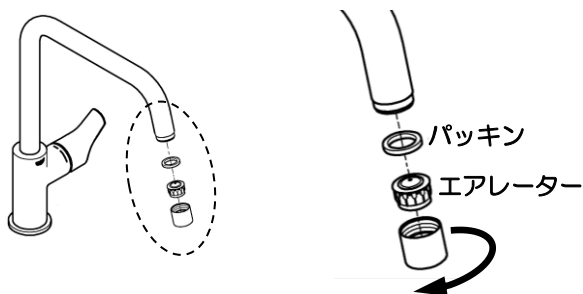
パッキン内蔵



鋭利な工具での取外し禁止

- ・エアレーターは樹脂製です。取扱いにご十分ご注意ください。
- ・エアレーター取外しの際は、ドライバー等鋭利な工具は使用しないでください。
- ・エアレーター上部溝にパッキンが付属しています。

サイドレバータイプ 30567



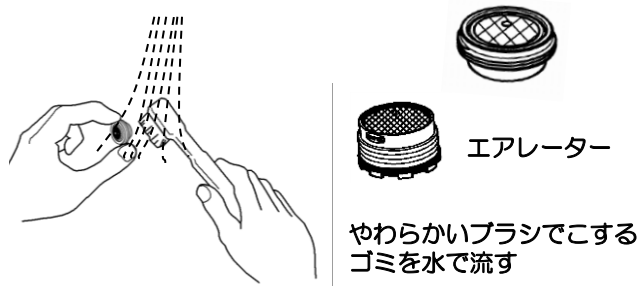
手で反時計まわりにまわして取外します

ポイント



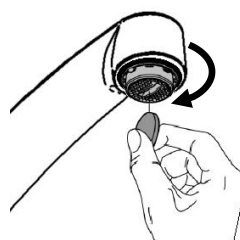
素手で取り外しが出来ない場合、ゴム手袋等を使用すると取外しやすくなります。

3. エアレーターのゴミを取り除きます。



4. エアレーターを取付けます。

上部レバータイプ 33281



エアレーター先端の溝に硬貨等を差込み、時計まわりにまわして取付けます

注意

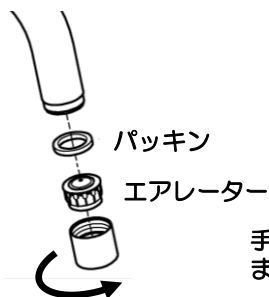
パッキン内蔵



鋭利な工具での取外し禁止

- ・エアレーターは樹脂製です。締付過ぎ等、取扱いにご注意ください。
- ・エアレーター取付けの際は、ドライバー等鋭利な工具は使用しないでください。
- ・エアレーター内部のパッキンを必ず取付けてください。

サイドレバータイプ 30567



手で時計まわりにまわして取付けます

注意

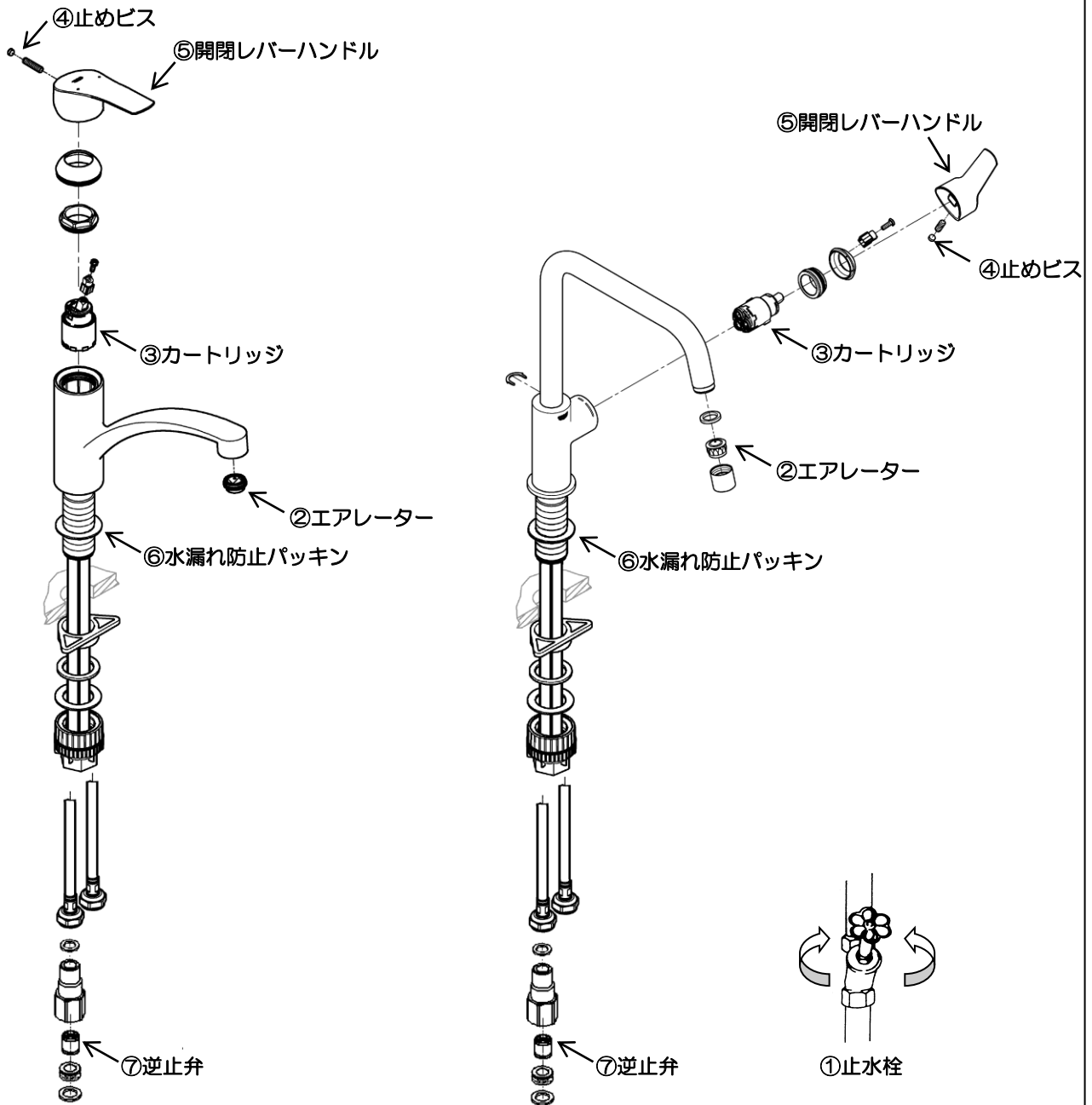
清掃後は確実にエアレーターを取付けてください。

ポイント

通水直後にはシールテープ、グリス等が付着している事があります。よく水洗いしてください。

故障と点検

製品設置後に万一故障した際は、次の要領で分解及び点検を行って下さい。



現象	点検箇所	処置
吐水量が少ない	①	全開されていますか？圧力は十分ですか？
	②⑦	破損・ゴミかみはありませんか？
水が止まらない	③	破損・ゴミかみはありませんか？
温度不良	①	全開されていますか？圧力は十分ですか？
	③⑦	破損・ゴミかみはないか？
ハンドルがガタつく	④⑤	正しく取付けられていますか？
カウンター内の漏水	⑥	正しく取付けられていますか？

グローエジャパン株式会社

ホームページアドレス <https://www.grohe.co.jp/>